

平成29年1月 国見町教育委員会 会議録

- 1、召集日時 平成29年1月16日(月)午後6時30分
- 2、召集場所 国見町役場 小会議室(2階)
- 3、議席指定 1番委員 石川 博利
2番委員 志村 裕美
3番委員 高橋 幸子
4番委員 赤坂 正行
5番委員 岡崎 忠昭
- 4、議事録書名人 1番委員 石川博利委員 4番委員 赤坂正行委員
- 5、欠席委員 なし
- 6、説明のため出席

教育次長兼学校教育課長	引地 由則
幼児教育課長	中田 利枝
生涯学習課長	羽根 洋一
学校教育課指導主事	宍戸 正幸

- 7、書 記 学校教育課主任主査兼学校教育係長 黒澤敦子
- 8、開 会 午後6時30分
- 9、議題の上程

○議案第1号 国見町観月台文化センター図書室資料運用要綱の制定について
(事務局説明)

高橋議長：今まで取扱いの書面は全くなかったのか。

羽根課長：督促は、手続きを記したものがなく個々に電話していた。併せて除籍の手法も無く古い資料が保存されている。督促や除籍は行政処分的な性質もあり、きちんとした要綱で取扱いを決めていく。

赤坂委員：無くなる本(紛失)は多いのか。

羽根課長：図書室では年2回蔵書点検を行い、不明本が445冊ある。

高橋議長：不明本は、貸出しているのではないのか。

羽根委員：貸し出しとの関係がはっきりしていない。督促にかかる延滞者は113名261冊ある。

高橋議長：これは県立図書館の要綱などを参考にしたのか。

羽根課長：この要綱については基本的にそのとおり。もっと難しい表現をしているのもあるが比較的分かりやすい形での表現にするように指導いただいた。

志村委員：児童書の複数本があり、廃棄するとのことだが、例えば小学校の図書館充実のために、除籍する前に必要な図書があるか学校に確認しないのか。

岡崎教育長：除籍するのは、基本的に所蔵していても使用できないものである。小坂小と森江野小が廃校するとき使える図書は国見小学校に持ち込んでいる。それ以外が図書室に持ち込まれた。

羽根課長：除籍本のほとんどが旧小学校から持ち込まれた本である。

高橋議長：要綱の制定について承認してよいか。(異議なしの声)

高橋議長：議案第1号は承認された。

10、教育長事務報告

岡崎教育長：12月に開催した総合教育会議について委員の意見感想を聞きたい。町長の考え方を聞くことができ良かった。財源を考えながら工夫してやってほしいという話があった。今、英検対策講座や夏休み学習会、冬休み学習会は、福大生や退職教員、指導主事などが指導しているが、そういうことはもっとできると考えていきたい。総合教育会議で具体的に取り上げて欲しいことがあるか。

高橋議長：総合教育会議は初めてで感じがつかめなかった。回数を重ねることで、どのような話をしてよいか分かり、もっと中身が濃くなると感じた。

岡崎教育長：教育ビジョンを策定して4年経つが、10年後には子供が約半分に減り、校舎はもっても20年程度などの課題がある。そういうところを含めて長中期的な展望を話し合う機関を設置して、保育所、幼稚園も併せて国見の教育の基盤を考えなければならない。読書推進は、いろんな方々の協力で進めているところであり、国見町がリーダーシップをとり、家読推進の県のネットワークを作りたい。全国の組織は、公立図書館、市立図書館など賛同する方が会員になっている。福島県では組織化されていないので、全国の状況に合わせて進めていきたい。コミュニティ・スクール委員会は、開始から2年経過して委員の任期も終わるので、今までの活動を総括する。次年度以降のコミュニティ・スクールは、色々と工夫して、校長会で基盤づくりをしていきたい。基本的には地域とともにある学校として、地域が入りやすい学校を目指したい。スクールソーシャルワーカーと民生委員が家庭に関わっているなか、新聞やテレビで取り上げられる「子ども食堂」的な試みを進めている。12月以降の教育長出席会議等については、冬休み学習会ということで参加した6年生は一生懸命やっていた。指導者の確保が難しく、対象を5年生、4年生、中学生に広げることは現実的に厳しいが、手立てを考えていく。1月14日に大木戸の文化財センター「あつかし歴史館」オープンセレモニーを実施した。インフルエンザのため子供がほとんど集まらなかったが、聖母学生や地域の方が100名ほど来てくれた。

志村委員：「子ども食堂」について、どのようなことを実施する予定か。

岡崎教育長：大人が料理して食べさせるのではなく、子供の自立を考え、子供も作るというクッキングクラブにする。子供が与えられないと何もできないのでは、いつまで経っても同じ。子供がほっとする空間を作りたいし、子供が自立していく力を身につけさせたい。何もないところから始まるので、課題は多い。

高橋議長：いわゆる「子ども食堂」は、民間で普通の家を解放する感じがある。

岡崎教育長：軌道に乗ったら学習支援など合わせて、できればと思っている。

宍戸指導主事：クッキングクラブについて、学校の日には給食があるからいいが、長期休業や、1日3食の中でも子供達だけで食事したり、朝食を食べて来なかったり、両親が面倒を見てくれなかったり、当り前の食事が出来ないとか、当り前の家庭のふれあいが出来ない家が潜在的にある。「子ども食堂」は、制度的にキッチンと整備されておらず、全国的に見ると、例えば自治体でバックアップしているとか、自治体で制度化しているところもあるが、まだ国の法律もそこ

までになってない。結局、町や教育委員会は前面的に関われないので、様子をみながら出来るところからやりましょう、というのが今のスタンス。いじめ防止専門委員会で福大教授の話でもそういう子どもたちは、寂しさ、孤独でつながりが薄れているから、「子ども食堂」をきっかけに経験になり、子供達で新たなつながりが出来たり、地域の方とふれあったりすること、新たな居場所が出来るので、そういう面で必要である。家庭においてお母さんお父さんが時間に余裕がなかったり、精神的に苦しかったりする方もいて、そこは保健福祉が関わるが、バックアップしつつ、今年度は2月に予定して子供の居場所を作る。基本的に食材費を徴収することや寄付やフードバンクを利用することなどハッキリしてない。

高橋議長： 本当に支援が必要な子供のためになるよう実施してほしい。

12、各課からの報告

学校教育課： インフルエンザにより学級閉鎖は県北中2年1組、3年2組、が明日（1/17）まで、3年1組は今日（1/16）から20日まで。

高橋議長： 小学校は学級閉鎖していないのか。

引地課長： 小学校は、6年1組にインフルエンザ7名いるが、まだ閉鎖まではしていない。

幼児教育課： ①平成29年度の保育所、幼稚園、預かり保育、子どもクラブの入所について。保育所の新入児説明会は対象者21人で2月17日に保育所で行う。幼稚園の入園説明会は、3歳児45名、4歳児1名の46名で1月25日に行う。子どもクラブは、132名。

②屋内遊び場くにみもたん広場の利用状況について

生涯学習課： ①1月8日の成人式について（該当者88名中、78名の参加）

②国見町文化財センター「あつかし歴史館」のオープンについて

③1月28日ショートショート創作大会、若い芽のコンサートについて

④1月29日小坂宿のまるごと博物館について、

⑤2月5日、第25回町長杯の囲碁将棋大会について

⑥3月20日及川浩治ピアノリサイタルについて

⑦公民館教室活動

・1月21日くにみっ子わんぱく広場（世代間交流）について

・2月11日仲間づくり教室（閉講式）について

・子ども司書講座は、10名の児童が7回目講座を受け、子ども司書を認定予定。

・2月5日子どもスキー教室（安達太良スキー場）について

13、その他

学校教育課長： ①次の教育委員会は2月15日18時30分から開催。教育委員会の事業点検評価を教育委員に承認いただく。

②あつかし会の開催について

③1月7日、中学2年生が交通事故で入院した。

14、閉 会 午後7時20分

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成29年1月16日

議事録書名人

1 番委員

4 番委員

会議書記

主任主査兼学校教育係長 黒澤敦子